

令和元年度 学校法人御船学園 監査報告書

学校法人御船学園の令和元年度の監査結果を、下記のとおり報告します。

記

1. 監査日時 令和2年5月21日(木) 14時 ~ 15時30分
2. 監査場所 学校法人御船学園 平成音楽大学 本館3階 R301
3. 監査対象期間 平成31年4月1日~令和2年3月31日
4. 監査事項 私立学校法及び寄附行為に基づく監査
①学校法人の業務の監査
②学校法人の財産状況の監査
③その他
5. 監査結果

①学校法人の業務の監査

理事会・評議員会が学園規程・手続きに従って適切に開催・運営されており、理事及び評議員の意見が十分に反映されて行なわれた。

以上、令和元年度の第1回目の理事会から出席し確認した。

提出を求めた書類は次のとおりである。

理事会・評議員会議事録、令和元年度事業報告書、令和元年度年間行事予定 等

②学校法人の財産状況の監査

会計処理として、関係書類及び台帳を詳細に監査した結果、いずれも正確であることを確認した。学校法人会計基準に基づいた正確な会計処理を行なっている。

宮崎公認会計士による会計監査が、令和元年12月16日~17日、令和2年5月18~20日までの間で実施されている。この間延べ35時間の立入監査が行なわれ、期間の一部で公認会計士と監事が連携して監査を実施し、特段の指摘・指導を受けるような事例は出てこないことを確認した。

提出を求めた書類は次のとおりである。

令和元年度の財務計算に関する書類・領収証綴り・学納金台帳 等

平成28年の熊本地震によって校舎が多大な被害を被り、その影響で平成29年

から令和2年度まで入学者が減少していると考えられる。令和元年度、校舎を再建したことから、令和3年度の入学者の増加を期待している。なお、音楽学科の学生数は過年度より定員を割り込んでいることやこども学科の入学生が令和2年度に急激に減少したことについて、元年度末より流行している新型コロナウイルス感染症による学生募集についての影響をも考慮した上で、特に対策が必要であると思われる。

令和元年度に行われた文部科学省における学校法人運営調査において「経営が悪化しており、直ちに適切な経営改善が必要な集中経営指導法人」と判断されたため、令和2年度の法人業務においては、収入の増加に向けて学園が一体となって学生募集に尽力することともに、経費削減についても実行することが重要課題であると考ええる。

6. 意見・具申

①業務執行状況について

特になし。

②財産状況について

特になし。

③評議員会・所轄庁への報告・召集要求の有無

無し。


学校法人御船学園

理事長 出田 敬三 殿

監査の結果、正確かつ妥当であることを認めます。

令和2年5月21日

学校法人御船学園 監事

神田昌史 

学校法人御船学園 監事

中田泉 